

企画展「岡山の学校の始まり」 を開催します

明治維新を迎えて国民共通の課題であったのは、近代的な制度のもとで学校施設を建設し、新しい教育を推進して国民の教育水準を高めることでした。入学シーズンにあわせて岡山における明治初期の教育の歩みを所蔵資料で跡づけ、当時の人が教育にかけた熱意を振り返ります。

1 日時

令和7年4月3日(木)～5月18日(日) 休館日:平日の月曜日(祝日の5月5日は開館します)
開館時間 10時～18時(木曜日は11時～19時)

2 場所

岡山市立中央図書館 2階 視聴覚ホール前 展示コーナー(北区二日市町)

3 内容

明治5年に学制が公布され、翌年から全国で制度的な初等教育が始まりますが、岡山ではこれに先立つ動きがあり、旧藩士族の中川横太郎の奔走で明治5年7月に市内に明知(智)義塾という学校が設立されていました。この学校には従来、少しの伝聞情報しかありませんでしたが、このたび岡山城下の豪商で、市政に携わってきた国富家の文書(当館蔵)に、当時の当主の国富庄太郎が中川横太郎とともに中心的な役割を担ったことと、建物の整備や需用品の購入、教師への月俸等を記した帳簿もあることが判明したので、それらを初めて展示・紹介します。

また、当時の政府には財政的なゆとりがなく、地方の行政制度も未整備でしたので、学校施設の建設と運営は地域の人々からの多額の寄付でまかなわれました。そこで旧城下や近隣の町村に伝わり当館へ収蔵された文書から、教育環境の整備のために地域の人々が多くの負担をしてきたことを示す資料(学校施設の図面、運営の帳簿、寄付簿等)をあわせて紹介します。

4 その他

関連講座「岡山の明治初期の学校関係資料」

日時 令和7年4月13日(日) 14時～16時

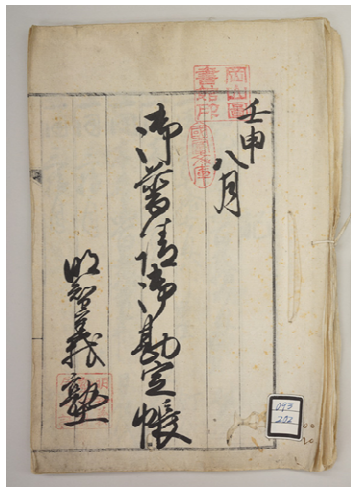
場所 岡山市立中央図書館 2階 視聴覚ホール

講師 飯島章仁(当館職員) 定員60名(事前受付なし、当日先着順、聴講無料)

【問い合わせ先】

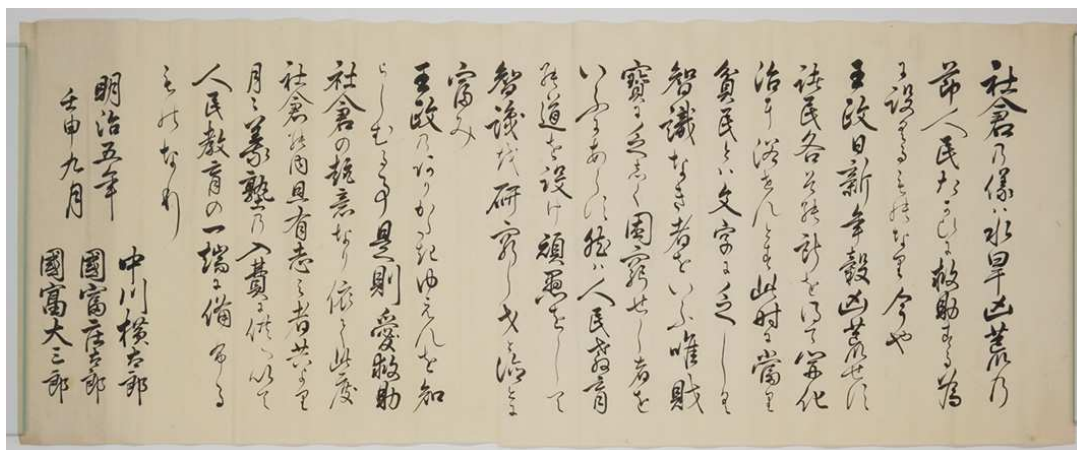
岡山市立中央図書館 飯島・杉野 直通086-223-3373

おもな展示品



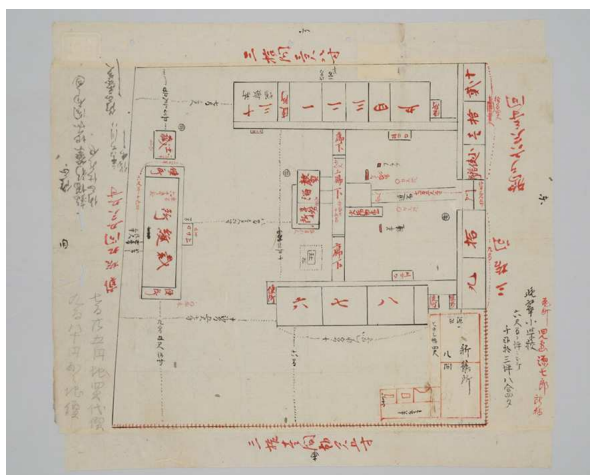
明知(智)義塾に関する文書(明治5年、当館蔵・国富家文書)

建物の改修と、書物などの需用品の購入、教師への月俸等を記した帳簿です。



社倉の備えを義塾の入費にあてることを宣した張紙(明治5年9月、当館蔵・国富家文書)

社倉(江戸時代に凶作に備えた備蓄米の制度)の貯えを、新時代にふさわしく、教育にあてることを宣したものです。中川横太郎、国富庄太郎、国富大三郎(庄太郎の後継者)の連名です。



晩翠ばんすい小学校の改築図面(明治16年、当館蔵・岡山区第九部戸長役場文書)

明治の中頃、現在の北区天瀬にあった学校で、平面図から校舎と教室の配置がうかがえます。まだ広い運動場はなく、日当たりもあまり考慮されていませんが、職員や生徒が移動しやすい動線が考えられています。